

「緑のカーテンを作ろう！」開催レポート

令和4年5月18日（ギャラクシティ）

講師

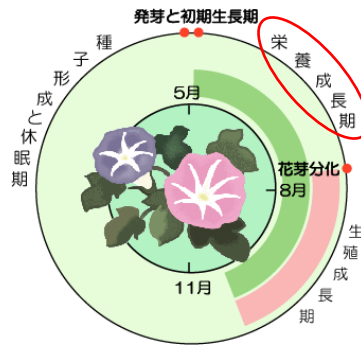
これから訪れる真夏の暑さを和らげる「緑のカーテン」の作り方を、良い苗の見極め方から育てる際のコツなどを、具体的な例から学びました。
また、植物の成長段階により異なる必要な栄養素についても教えていただきました。

講師

徳原真人先生
（園芸研究家）



右図が示すのはアサガオの一年間のサイクルです。春をスタートとして大きく三区分されます。緑のカーテンで重要なのは、このうち発芽後の栄養成長期になります。
栄養成長期には葉を茂らせるので、肥料はチッ素（N）を主に与えるようにします。



「グリーン博'99」においてガーデニング・ジャパンカップでグランプリを受賞したほか、数々のイベントで受賞、植栽設計・監修を務める。現在では全国的に講習・講演活動を行っており、足立区では、平成26年から、「みどりのレッスン」や「暮らしの園芸講座」等で講師を務めている。

～緑のカーテンの効果～



直射日光を遮ったり

外部からの目隠しや



蒸散により水蒸気が発生するので、涼しくしてくれる効果も！



フウセンカズラ



ゴーヤー



ノアサガオ

白色の小さな花を咲かせ、その後、紙風船のような袋状の果実をつけます。熱帯性の植物で、さわやかな苦みを持つ実は、炒めものやあえものなどで食用にされます。沖縄などの海岸に自生する、暑さ、乾燥に強い品種。花は短日性で秋が見ごろ。

科学的に、植物を育てるのに必要な肥料の種類と、グリーンカーテンの効果が分かりました。
（初参加・60代）

花木の声を聞いてあげながら、共に成長（生長）していきたいです。
（初参加・50代）

先生のお話、とても分かりやすく楽しかったです。
（初参加・80代以上）

参加者の声